

その時に、ふと思った事。 あれこれ、作業しながら、心の中で、消去法で考えてて。

もし、私が絶対絶命のピンチに陥った時に、

愛は煩惱とか言って人里離れて川で修行しているような者が、
目を閉じて、瞑想している者が、わざわざ私を助けに来てくれるだろうか？

聖書の福音は…

最も大切なこととしてわたしがあなたがたに伝えたのは、わたしも受けたものです。すなわち、キリストが、聖書に書いてあるとおりわたしたちの罪のために死んだこと、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおり三日目に復活したこと、ケファに現れ、その後十二人に現れたことです。

エゼキエル書 18章27-28節 新共同訳

私達の罪のために人となって来られ、
十字架で身代わりに死んでさえくださったお方…

聖書の「イエス・キリスト」…
ああ、この方なら、助けに来てくれる…

私が絶対絶命の危機に陥った時、この方だったら、助けに来て下さる！

そう思った瞬間…
(まるで「そうだ」と…応答のように感じた)

この世のものでない全き愛に満ちた平安の光が内側に来て、
体の真ん中、深呼吸しても、炭酸水を飲んでも、すっきりしない暗い所、
心なのか、霊なのか、魂なのか、そういった領域が、全き光に照らされ…
そこが平安の光と一緒に、下から上に移動し、上で止まったように感じた。

同時に視界もワントーン明るくなり、横髪で見えないはずの真横が見えた。

まさに、罪が許され、魂が救われた、のが超自然に分かったのです。
だから、主イエス様こそが本物の神様だと、胸を張って言えるんです。